



20周年記念写真集

20th

Memorial Photobook

勤続
10年
以上
の方
へ、
感謝
を込
めて

20th
Memorial Photobook

20周年記念写真集

生涯を添い遂げられる 仕事を提供する

～インクルーシブ事業への覚悟～

CEO 兼 SKILL LAB代表
長谷川 雅士



世代を超越した社会環境へ

私たちの事業は高齢者が多い業種です。高齢者層の増加に伴い、多くの人材が溢れてしまう可能性があります。さらに、ロボットの導入による省人化も進みます。しかし、高齢者ニーズの高い仕事は最後の砦、いわば終の職場であると考えています。



株式会社ビルスキルは、
2023年7月23日をもちまして設立20周年を迎えました。
皆様のご支援とご愛顧いただき心から感謝を申し上げます。
この先～2030-2040-2050-2100～とは
わかり知れない未来を試行錯誤しながらも
軸を見失わず突き進み、
日々24時間365日“動きを止めない”を
使命かつ企業価値として
誇りを持ち続けて参ります。



全ての従業員が公平に仕事ができる方法を 工学的に解決する

2022年4月に発足したSKILL LABが取り組むT'SACTでは、多様な人々が、今もこの先も、公平に必要な仕事ができるようインクルーシブな環境を目指しています。技術革新による労働生産性向上を推進しながらも、あらゆる人材がバディを組むことで、新たな領域を異業種と共創します。目の前の従業員を守る、この当たり前の理想が日本を救うと信じています。

温故知新。20年分のパワーをみんなと。

『古きを温めて新しきを知る』という言葉をご存知かと思います。当社はおそうじ会社です。掃除は古くから儀式の一つとして捉え、万物を払い清める行動です。皆さんも大晦日には大掃除する習慣があるかと思います。今も使う箒は、掃除の掃の成り立ちを意味し、遥か昔から使われていた道具。そして先人の知恵があり、現在の掃除の技術や資機材の発展へと繋がっています。次は私たちが先人の様な叡智を残す使命があります。

おかげさまで20周年!!
ありがとうございます



日々の業務
お疲れ様です！



「縁の下の力持ち」になれてますか？(笑)

ビルスキル創立 20 周年おめでとうございます。このような節目の年を会社の一員として迎えられたことをとても嬉しく思います。皆さまとはなかなか顔を合わせる機会がない事務員チームですが、これからも精一杯、皆さまのサポートをしていきますので、よろしく願います。(左から芹沢・小島・久慈・片山)

誇りをもって黒子に徹する

マンションに一步入れば

マンションに一步入れば、そこは居住者さんの自宅。主（あるじ）が暮らしやすいよう、黒子としての誇りを胸に、「信用される人間」となるよう誠心誠意働く。「いつもご苦労さん」という言葉が励みだ。



あんどう みちよ
安藤 倫代 さん

勤続 11 年 4 か月

- 1961 年生まれ、2012 年 5 月、ビルスキル採用。グランドヒルズ成城（世田谷区成城）。36 世帯の分譲。週 4 日、午前 8 時から 12 時まで、建物全般の掃除を担当。
- 食品会社販売員など接客業を中心に 20 代からパートで働く。趣味と実益を兼ねた書店員は 13 年続けた。
- サスペンス小説が好きで、ベストセラーは必ず手に取る。最近では東野圭吾の「クスノキの番人」、村上春樹の新作「街とその不確かな壁」を読んだ。



屋久島への旅が夢

転職する際、ハローワーク（公共職業安定所）のセミナーで、たまたま隣の席にマンション清掃員の管理会社で働いた女性がいらして、「清掃員は悪くない仕事よ」と言われました。成城で求人があり、「閑静な住宅地だし、通勤時間が 30 分で楽だわ」と思って応募しました。

出勤したらまずゴミ置き場に行って、可燃や不燃の分別ごみを台車で屋外の搬出場所に運びます。入居者の皆さん、マナーがとても良いので私は恵まれていますね。次の作業はエントランスなどコンクリート床のモップ掛け。続いて玄関と歩道部分の掃き掃除。風のある日はほこりっぽく、季節や天候によって負担も変わります。

この仕事を始めるとき、私誓ったんです。「人様のお住まいに入るのだから、信用される人間になろう」と。黒子としての誇りですね。一生懸命働けば、住民にも伝わります。寒い日に「私が使っていたものだけど、新しいので良かったら使ってください」とマフラーをいただいたこともありました。

仕事が昼に終わるので早起きになりました。午後は自分の時間になるのがうれしいですね。ビルスキルは新しい会社なのでさらに発展して良い人材を育ててほしいですね。清掃員はやりがいのある仕事です。旅行したいところがたくさんあり、まずは屋久島で縄文杉を見るのが夢ですね。

作業が体にしみこんで

「きれいにしたい」との思い

「きれいにしたい」との思いが強く、清掃こそ天職だという。最初からポリッシャーを操り、特殊な洗剤を使うなど専門性の高い作業を体験し、体にしみこんだ作業は体が自然に動くという。スポット的に各地のマンションに派遣されるビルスキルに欠かせぬ人材。



いしざき よしおみ
石崎 純臣 さん

勤続15年3か月

- 1971年生まれ、2008年6月、ビルスキル採用。床の清掃チームからスタートし、その経験を生かし各地のマンションで応援にフル回転。
- 横浜生まれ、高校時代の交通量調査からアルバイト一筋。専門学校を中退後、清掃の仕事続ける。埼玉東松山市から電車通勤。
- 映画が好きで、「明日に向かって撃て」のポール・ニューマンや西部劇によく出ていたクリント・イーストウッドのファン。カンフー映画やジブリ映画も鑑賞している。



広々とした北海道に行ってみたい

清掃会社で10年以上、雑居ビルの清掃、窓ガラスふきの仕事を経験した後、求人誌でビルスキルの応募を見つけました。「即戦力」を期待され、床の清掃チームに入り、同僚と2台の車に分乗して横浜、東京、埼玉、千葉など各地に出かけ、フロアのポリッシャーかけ、じゅうたんの水洗い、ワックス塗りなどをしました。

その経験をもとに同じ場所での日常勤務も。ごみ出し、廊下の清掃などを覚え、3、4カ所を掛け持ちして「助っ人」のように短時間働く形が多くなりました。特殊な洗剤や技術を駆使した定期清掃の経験が役に立っています。もう作業が体にしみこんでいるんですね。

これまでに30カ所以上の現場に行きましたね。新築マンションでの応援では、引っ越しの段ボールゴミをさばくのに大忙しです。この夏は新宿区の35階建て432世帯のタワーマンションを担当しましたが、入居者と顔を合わさない地下1、2階の廊下は迷路のようです。各階のごみ回収場所から搬出する作業専用エレベーターもけっこう混むんです。

リッチな住民の姿に「どうしたらこんなお金持ちになれるのだろう」と複雑な気持ちになることもあります。自分としては「お客様にきれいだと感じていただくこと」を志して日々働いています。「いつもご苦労様」という言葉はありがたいですね。いつか広々とした北海道に行ってみたいです。

一日一日しっかり頑張る

大きなマンションなので

大きなマンションなのでたくさん歩き、体を使う作業は容易ではないが、一日一日しっかり頑張るように心がけて働く。清掃作業の仲間や居住者との会話やコミュニケーションも大切にしている。



さえぎしげこ
佐伯 茂子 さん

勤続 14年0か月

- 1946年生まれ、2009年7月、ビルスキル採用。14階392世帯の分譲「シティテラス昭島」(東京都昭島市)で14年間勤務。
- 7人のシフト体制で午前中に4時間勤務を基本とする。ごみの搬出、フロアと廊下の掃除、外回りの落ち葉を掃き、窓ふきなど作業は多岐にわたる。
- 通勤は自宅から自転車で10分。同居の次女と近所に住む長女に孫が3人ずつおり、料理でおいしいものを食べさせてあげるのが趣味。



同僚の仕事ぶりも勉強に

生まれも育ちも東京都昭島市で、母が働いていた工業高校に私も15歳から勤め、事務と職員室の配膳や雑用、電話交換室での勤務を経験しました。23歳で結婚して10年余り専業主婦でした。35歳で近所の電子メーカーでまた働き始め、部品の組み立てや発送作業を担当しました。60歳で定年になり、さらに下請け会社で仕事を続けました。

62歳で残念ながら雇用が切れてしまい、新聞広告でビルスキルの求人を知って応募しました。細かい事務作業より歩いて体を使う作業の方がいいと思ったのです。仕事で大変なのは玄関先や各階の汚れをホースで洗い落とす作業で、奇数階にしかない蛇口からホースを伸ばす作業が大変ですね。でも良かったのは同僚やいろんな人と会って話ができることです。隣近所の人に言えないこともおしゃべりできますからね。

仕事は一日一日しっかり頑張ることですね。他の方の仕事ぶりも勉強になります。居住者さんには親切にさせていただいています。先日、孫に車で送ってもらったのを見ていた女性から「あら、いいお孫さんね」と声をかけていただき、うれしかったです。

我が家でもけっこう仕事があるんです。83歳の夫が家にいるので、朝のうちに洗濯物を干して、食事の準備も済ませてから出勤しています。このまま健康で動ければ、何もいません。

いつも笑顔を心がけ

一番神経を使うのは

一番神経を使うのは入居者への対応。低姿勢を心がけ、細心の注意をはらう。常に襟を正して仕事に向かい、嫌なことがあっても笑顔を保つのがプロとしての矜持だと心得る。



さとう こういち
佐藤 公一 さん

勤続 11年 10か月

- 1949年生まれ、2011年11月、ビルスキル採用。500余世帯の分譲「アクラス」(江戸川区平井)をシフト制で週5日、午後1時から5時まで勤務。
- フロアのごみ吸引、窓ガラスふき、建物周囲の清掃、ごみ分別、植栽の水やりなどを担当。
- 茨城県出身で、中学卒業時に父親の勧めで就職した東京の京橋郵便局で60歳まで45年間働き、雑役、配達、窓口などを担当。



居酒屋の晩酌が楽しみ

リタイア後にビルスキルの求人チラシを見て応募しました。前の職場でも清掃の心得があったので作業はすぐにイメージできました。今の仕事は同じ江戸川区内の家から自転車で30分、仕事も順調です。8人のシフト制でお互いに融通し合います。難しいと思われがちな人間関係も和気あいあいで心配ありません。

重い物を持つ作業や駐輪場の蛍光灯など脚立で高いところを掃除する時は慎重にやります。この仕事で良かったのは健康でいられることですね。もちろん健康管理には注意しています。毎日毎日、「さあやるぞ」と気を引き締めて仕事に臨んでいます。そのためには自分から率先して前向きに生きることです。そう、大事なのは気持ちですよ。

怖いのは入居者さんからの苦情で、今でもドキドキハラハラしていますよ。きちっとしなきゃいけない、と思って仕事をしています。ごみの分別のできてない入居者さんもいるので、腹が立つ時もありますが、嫌な時も笑顔を保っています。

私の周囲では家に引きこもっているうち健康を害した人もいますが、幸いに私は病気知らずで、健康診断でも異常がまったくありません。それが取り柄です。一人暮らしなので晩飯は新小岩駅の飲み屋で一杯やりながらです。呑兵衛にはそれが一番の楽しみです。将来は酒蔵巡りもいいかもしれませんが、今はもっぱら居酒屋巡りです。

早寝早起き、ぐっすり快眠

仕事のおかげで

仕事のおかげで早寝早起きのリズムが生まれる。無理をしない範囲で体を動かし、健康増進が図れるうえ、お小遣いができるのがうれしい。しばらく働くつもりだ。



しかの きょうこ
鹿野 京子 さん

勤続 11 年 9 か月

- 1953年生まれ、2011年12月、ビルスキル採用。27世帯の賃貸「岡部ドエル六番館」(墨田区江東橋)。週5日、午前8時から4時間勤務で、ごみの搬出、建物全般の掃除を担当。
- 会社で事務職を2年経験し、20歳で結婚して専業主婦になる。ビルスキルでは3カ所の職場を経験した。
- 趣味はタロット、四柱推命、姓名判断などの占い。知人や次女の友人から恋愛などの運勢をみるようリクエストがある。



趣味で占いと野菜作りを

北海道夕張市から18歳で上京しました。大阪万博(1970年)の余韻があり、日本が高度経済成長期に湧く時代でした。結婚して三人の子どもが成人した時、「家にこもらず外に出よう」と、新聞の折り込み広告で見つけたマンション清掃員の求人に応募しました。52歳での再就職です。2年間働き、いったん休養してから再びハローワークで「体力に合った同じ仕事」を探し、ビルスキルさんの求人に応募しました。分譲、賃貸と双方のマンションで10年間働いてきました。現在は若い世代が多い小ぶりの賃貸です。

自宅から職場まで通勤は都営新宿線で20分余り。上下オレンジ色のユニホームに着替え、ゴミの搬出、エントランス清掃、7階までの廊下の掃き掃除にかかります。大変なのは手すりの拭き掃除です。花粉症の季節は黄色いペトペトの花粉がペンキのように付着するので雑巾で何回もこすって落とします。白くて美しいマンションが台なしにはいけませんものね。

帰りがけに食材を買って、ゆっくり晩御飯を作ります。庭の鉢植えでトマトやナスを作っていて、休日には調理人だった夫がそれを食材に自慢の腕を振るってくれます。夜は8時頃には床に就き、朝までぐっすり快眠できます。ビルスキルは社長さんも事務の方も丁寧で話しやすくありがたいですね。

「辞めないで」の声を励みに

マイペースで

マイペースで続けた仕事は今年12年目。入居者から「杉さん、ここを辞めずに続けてね」と声がかかる。華やかな芸能生活や居酒屋経営を経た今の暮らしが最高に幸せだ。



すぎ としのり
杉 敏則 さん

勤続11年4か月

- 1946年生まれ。2012年5月、ビルスキル採用。42世帯の分譲「エフローレ新越谷スタシオン」(埼玉県越谷市南越谷)で週5日、午前8時から3時間勤務を11年間続ける。
- 通勤は電車でひと駅の約20分。ごみの搬出、廊下掃除と窓格子のほこり払い、管理人としての連絡業務や住民理事会の書類管理も担当する。
- 趣味は妻とたしなむ俳句とイラストレーターの息子の影響で始めたコンピューター絵画。「しゃれびと」で検索すると作品が見られる。



昔は歌手でテレビ出演も

福岡市出身。上京して1970年、男性デュオグループ「リック&ポビー」で歌手デビューしました。阿久悠さん作詞「それも男が悪いから」、3作目は青春ドラマ「泣くな青春」の主題歌「君は今青春」です。いずれもYouTubeで見られますよ。「夜のヒットスタジオ」にも出演しましたが、売れずにフランスのアイドル歌手ダニエル・ビダルさんや朝丘雪路さんのバックコーラスとして地方回りをしました。

歌手を諦め、スナック、居酒屋を営み、借金を背負い、還暦の頃まで苦労しましたが、中学教師だった妻のおかげですべて返済でき、65歳でこの仕事を始めました。清掃のほか住民の理事会の書類整理もありますが、マイペースでやっています。今年12年目で、「杉さん、そんなに一生懸命働かなくていいから仕事を辞めずに続けてね」と入居者さんから言われます。入居者のお子さんたちの成長ぶりも見るとうれしいですね。

歌手時代に五木ひろしさんや千昌夫さんから先輩のやさしさに触れたおかげですべての物事にやさしい気持ちになれました。子どもが自立し、心配事もなくなった今が一番幸せですね。妻と孫の世話をしながら、居酒屋時代に覚えた料理の腕で晩御飯を作っています。若い頃から裁縫も好きで、朝丘雪路さんのステージ衣装を作ってあげたこともありましたが、今は1歳の孫の服を作っています。

自分流のやり方で工夫

マニュアル通りの仕事より

マニュアル通りの仕事より自分なりの工夫で掃除に取り組む。自分流のやり方できれいにすることを心がけている。ごみの搬出のほか、フロア、廊下、自転車置き場を電気掃除機やモップなどで掃除。管理人としての業務もある。



たけたに たいら
竹谷 平 さん

勤続12年4か月

- 1952年生まれ、2011年4月、ビルスキル採用。31世帯の分譲「セイガステージ浅草レジデンス」（台東区東浅草）で週5日、午前8時から4時間勤務。
- 通勤は電車、バスを乗り継いでスムーズなら約1時間。自転車やバイクを利用することも。
- 若い頃には山登りが趣味だったが、コロナ禍で体力が低下し、マンションを駆け下りた際にひざを傷めて自宅で過ごすことが多くなった。



健康のためにも続けたい

島根県出身で、東京の大学を出ました。1970年代に青春を送り、社会に対して発言してきた世代ですから、システム通りに動くような管理された仕事には向いていません。スーパーや倉庫管理会社、病院などに勤めました。大手の下請け企業でコンピューターの事務作業を手伝ったところ腱鞘炎にかかってしまい、会社を辞めました。

清掃の仕事をはじめたのは55歳の時でした。食べるためです。ハローワークでビルスキルの仕事に出会い、それからはジタバタしなくなりました。いまの職場は2021年9月からです。台東区は都会の真ん中ですが、民家や寺もあり、植物があるから土が身近な土地柄です。街路樹も多いので秋になると落ち葉がいっぱい飛んできて大変なんですよ。マンションの花壇が吹き溜まりのようになって、落ち葉の掃き掃除だけで1時間かかる日がありますよ。白い床も土ぼこりで汚れてね。掃除のほか、管理人として連絡事項を掲示板に貼る仕事もあります。

私たちの年代だと60歳で年金生活に入る感覚の人が多くて、もう働かない人も多いです。この仕事は自分流のやり方で掃除して、きれいにすれば文句を言われなことがなによりメリットです。マニュアル通りするより自分なりに工夫しています。健康のためにもいいので、しばらく続けたいですね。

「おつかれさま」がやりがい

日々の仕事を

日々の仕事を淡々と、一生懸命していると、どこかで作業を見てくれている。それを証明してくれるのが居住者さんの「おつかれさまです」の一言。これこそが仕事への一番の励みだ。



なかの やすあき
中野 泰明 さん

勤続13年1か月

- 1971年生まれ、2010年8月、ビルスキル採用。14階建て500余世帯の分譲「アクラス」(江戸川区平井)で週5日、シフト制で午前8時から午後3時まで勤務。
- エントランス回りのごみを掃除機で吸い取り、建物内のごみ置き場の分別を整え、床をきれいにする。窓ガラスふき、建物周囲の清掃、植栽の水やりなども担当。
- 生まれも育ちも江戸川区。中学卒業後、町工場に就職して研磨作業を15年続けた。



全員総出の雪かきも

今の仕事は、町工場で働いていた時に母の知り合いから紹介されました。前の職場では人間関係でいやな思いをしましたが、ここは8人の同僚とのチームプレーで互いに掃除機やポリシャーなどを用意し合って気持ちよく働いています。

家から職場まで歩いて10分と近いのもラッキーです。川沿いのコースを歩くのは気持ちがいいし、季節の変化も楽しめます。町工場では単調な研磨作業でしたが、今は動き回るせいか、時間がたつのが早く感じます。仕事をすることで生活にリズムができるのでとてもいいですね。

心がけているのは居住者さんからクレームを受けないこと。「おつかれさまです」と言ってもらえるのはうれしいし、やりがいを感じますね。ちゃんと見てくれるんですね。日々の仕事を淡々とこなしていたら、もう13年がたちました。赤ちゃんだったマンションの子も中学生です。一番大変だった仕事は大雪の時で、全員総出で大きなスコップを使って雪かきをしました。特に日陰は雪がなかなか溶けないから大変でした。

そんな私を、一緒に暮らす母は「時間がたつのは早いねえ」と喜んでます。休日は母と浅草にお参りに出かけ、美味しいものを食べたり、買い物で重い荷物を持ってあげたりします。親孝行ができるようになったのも、心地よく働けるからこそですね。

収入と健康の一石二鳥

健康オタクで

健康オタクで食生活に細心の注意を払う。マンション清掃の仕事は収入を得られるうえ、体を動かすので健康維持の一石二鳥ありがたい。病気知らずで仕事は当分続けるつもりだ。



まつばら きくえ
松原 喜久枝 さん

勤続14年2か月

- 1946年生まれ、2009年7月、ビルスキル採用。64世帯の賃貸「ズーム立川ノース」(立川市高松町)に平日の午前8時から3時間勤務。ごみの搬出、フロア、廊下を電気掃除機やモップなどを使った掃除、植栽の水やりを担当。
- ビルスキルでは昭島で14年間、2カ所目の現職場では2023年4月から働く。通勤はバスを使って30分。
- ウォーキングと社交ダンスなど健康に効果的な趣味を持ち、休日は娘と近所の玉川上水を歩く。



若い入居者の言葉に心弾ませ

立川市生まれで地元のスーパーでレジ係を18歳から18年やりました。2人の娘の子育ての手が離れてから再びレジの仕事を27年間続けました。2年ほど休み、立川市内のビル清掃を1年していたころ、知人の付き添いでハローワークを訪ね、昭島市の新築マンションで5人の清掃員を募集するビルスキルの求人を見つけました。古株もいないので楽しそうと思って応募しました。スタッフ、管理人、工事関係者の皆さん、とても良いかたちで人間関係に恵まれました。

今度の職場は屋外の作業が大変です。雨の中、ごみ置き場にカートを運ぶときはカッパを着ますし、夏場の水やりは直射日光がきついんですね。デザイナーズマンションなので若い入居者が多く、「いつもきれいにしてくれてありがとうございます。ここにずっといてくださいね」と言われた日はうれしくて気持ちが弾みましたね。

この仕事はお金をいただいて健康維持もできるので一石二鳥です。もし辞めてしまったら、体調を崩すのではと不安になります。

家ではテレビでサスペンス番組を見ています。お気に入りには刑事ドラマの「相棒」です。無添加の大豆や雑穀米や玄米など食べ物には細心の注意を払いますが、食べ歩きも大好きです。甘いものも好きで、スイーツを口にする私を見て、娘は「すぐうれしそうに食べているね」と笑います。

最後の御奉公のつもりで

仕事で大切にしているのは

仕事で大切にしているのは目配りと気配り。その心構えを後進には伝えたい。ビルスキルで仕事をして13年。最後の御奉公のつもりで仕事全体のチェック作業を担っている。



みやざき こういち
宮崎 浩一 さん

勤続14年2か月

- 1943年生まれ、2009年7月、ビルスキル採用。14階392世帯の分譲「シティテラス昭島」(東京都昭島市)で働く。シフト制で週4日は午前8時から17時まで。日曜は半日勤務。
- ビルスキル入社以来、現在の職場に14年間勤務。通勤は電車でひと駅と便利。
- 近場の御岳山、雲取山の自然の風景を撮影するのが趣味。65歳まで青梅マラソンを走っていたほどのスポーツ好き。現在は休日に妻とテニスをしている。



大連の友人を妻と訪ねたい

東京都心の実家は空襲で焼け、終戦後は東村山市で暮らしました。18歳から21歳まで新聞社の報道カメラマンとして1964年の東京オリンピックの競技写真を撮りました。そのあと民間会社に60歳定年まで勤め、さらにアメリカンスクールで5年間働きました。

リタイア後も体を動かそうと清掃の仕事を探し、ビルスキルの募集をチラシで見つけました。掃除は家でもしたことがないのでカルチャーショックでした。最初は作業を人に見られるのがつらかったですね。それでも住民からのクレームは1回もありませんし、親切に接していただいています。

ごみの搬出、ポリッシャーを使ったフロア、廊下の洗浄、蛍光灯まで幅広い清掃業務と点検作業を担当しています。雪が降ったら除雪作業が大変です。日陰の場所にあらかじめ塩化カルシウムをまいておきますが、凍ってしまうとカチカチです。最後の御奉公と思って全体のチェック作業を任せてもらっています。

コロナが落ち着いたので、海外旅行に行きたいですね。アメリカンスクールで同僚だった中国人の友人が大連に住んでいて、一人で3回訪ねましたが、次は妻と一緒に行くつもりです。そのほかボランティア仲間と老人ホームを訪問してマジックやウクレレの弾き語りなどのお手伝いをしています。家にもっていたら粗大ごみですからね。

居住者さんの言葉が張り合い

マイペースでも

マイペースでもきっちり仕事をするのがモットー。転居する若夫婦から「いつも感心していました」と言葉をかけられた。「仕事ぶりを見てくれていた」と感激。居住者の感謝の言葉に張り合いを感じる。



みやでら あきら
宮寺 章 さん

勤続12年9か月

- 1945年生まれ、2010年12月、ビルスキル採用。分譲「ランダム小石川」(文京区春日)で13年勤続。週4日、午前8時から3時間勤務で、ごみの搬出、フロア、廊下、自転車置き場を掃除し、管理人として管理会社との連絡業務も担当。
- 通勤は私鉄と地下鉄の乗り継ぎで約1時間。電車の遅延を想定して毎朝30分早く出勤。
- 若い頃は飲んだらカラオケ、休日は釣りが趣味だったが、現在は盆栽いじり。



バンドで活躍した青春時代

東京に生まれ育ち、高校時代からバンドに熱中しました。ベンチャーズやビートルズ全盛期です。ギターを手に六本木や青山のキャバレーなどを回っていましたが、好きな女の子ができて生活を安定させるためにやめました。大手のレコード卸会社に就職し、結婚もしました。ちなみに相手は今の女房です。その会社で物資の管理や営業を担当し、仙台、宇都宮、千葉などの営業所勤務も経験し、再雇用の4年を含め42年間勤めました。

新聞の折り込みチラシで見つけたのがビルスキルの求人です。管理人の仕事も兼ねているので書類のチェックなどに気を使いますが、マイペースながらきっちりとしています。

あいさつしかしたことのない若夫婦が引っ越していくとき、「ドアノブや窓枠のほこりをはらっていただき、いつも感心していました。きれいにしていただき、ありがとうございました」と言われました。へえ、わかっている人はわかっているんだなあ、と初めて教えられましたね。ちゃんと仕事を見てくれてるんだって。そう言われたら張り合いも出ますよ。

朝昼30分ずつ歩くので健康的です。この仕事、もしピタッとやめたら絶対寝込んでしまいますね。家では親の介護で忙しい女房がメモ書きした買い物や洗濯をまじめにこなしています。さぼらないよう管理されているんです。こうして生活しているだけで満足です。

万緑や 我の生業 清掃業

仕事を始めてから

仕事を始めてから俳句が趣味になり、月1回、地元の教室で俳句を習う。清掃のすがすがしさを表現した自慢の一句が「万緑や 我の生業 清掃業」だ。



むらいし しゅうぞう
村石 修三 さん

勤続18年5か月

- 1942年生まれ、2005年4月、ビルスキル採用時は62歳。ワンルーム25世帯の賃貸「スプレスター王子」(北区豊島)で現在の職場は3カ所目。
- 週4日、午前8時から2時間勤務で、ごみの搬出、建物全般の掃除、宅配ボックスの管理など。電球の交換など管理会社との連絡も。
- 自転車で通勤20分。マイペースで仕事し、ストレス発散、健康維持を図る。妻が要介護1で、朝昼晩の食事を作るのが日課。



句集を自費出版するのが夢

長野県の出身で東京の大学を卒業して故郷の百貨店に3年勤めました。父の死亡で家業の材木店を3年手伝いましたが、一旗揚げようと29歳で再び上京して製パン会社に就職しました。営業担当として8年働いたころ、取引先から「うちの店をやってくれ」と頼まれ、店内のかまどでパンを焼いて販売するインスタベーカリーを始めました。23年間続けましたが、周囲にスーパーが進出し、消費税導入もあって売上が急落。娘と息子の教育費もかかるので還暦を機に店をたたみました。

ハローワークで見つけた仕事が管理清掃員でした。春は草取り、秋は側溝にたまった落ち葉を掃き出す仕事で大忙しです。20年近くやってきたのでモップの絞り方なんか手が覚えちゃってね。道具ってかわいいですね。愛着がわいてきます。掃除は自分がきれいにしたのが目の前にパーッと見えますからね。なにものにも代えがたい満足感が味わえますね。心がすがすがしくなります。まあ、それがなければ長続きしないですよ。

3歳の時に終戦を迎えました。親父がアメリカの飛行機を見上げている姿を覚えています。兄が予科練の時に空爆で亡くなっていますから、戦争はなんとしてもやめなければなりません。一番大切な平和、そして働く幸せを感じたことを詠んだ俳句は1万句になります。将来は句集を自費出版したいですね。

震災後の点検作業が印象的

世帯数が多いマンション

世帯数が多いマンションなのでローテーションを組んでチームワークよく働いている。東日本大震災の発生時は作業現場にいて、即座に同僚と異常の有無を点検。これが最も印象的な出来事だ。



よしの しょういち
吉野 章一 さん

勤続12年8か月

- 1943年生まれ、2011年1月、ビルスキル採用。14階500余世帯の分譲「アクラス」(江戸川区平井)で勤続13年目。
- 週5日、シフト制で午前8時から午後3時まで勤務。フロアのごみ吸引、窓ガラスふき、建物周囲の清掃、ごみ分別、植栽の水やりなどを担当。
- 趣味は若いころ海や川へと釣りに熱中したが、新型コロナウイルスの感染拡大もあって最近は行かなくなった。



健康ならほかに何も望みません

18歳から会社一筋のサラリーマン生活を送りました。60歳で定年退職しましたが、当時は60歳から再雇用するシステムがありました。折り込み広告でビルスキルの求人を見て、「家から10分で通える」と思って応募しました。

清掃の仕事には抵抗がなく、実際にやってみてもきついとは全然思いませんでした。だから困ったこともありませんでした。強いて言えば、天井の照明の傘にあるごみを取る作業ですか。あれは大変です。だからといって良い仕事だとか悪い仕事だとか、そんなことは感じません。淡々と働くのみです。そりゃあ、家でゴロゴロしているより健康にはいいですからね。

一番思い出深い出来事は、東日本大震災です。この仕事に就いて間もない2011年3月11日。上方の階にいて、立ってられないほど揺れました。入居者さんも驚いて1階まで下りてこられた。直ちにどこか異常がないか、清掃員全員で手分けしてマンションの隅々を見て回りました。幸い、どこも異常がなくてホッとしました。地震だからと休むことなく、翌日も働きましたね。

朝は4時起きです。一人暮らしなので、自分で朝ごはんの支度をして、食べて出勤します。帰宅するとすぐに夕方です。旅行したい場所は特にないですし、健康であれば別に何も望みません。

ビルスキル
20周年記念誌

2023年12月1日 発行

発行者 株式会社ビルスキル
〒170-0013
東京都豊島区東池袋 2-13-14 マルヤス機械ビル 4F
TEL 03-5944-8005 FAX 03-5944-8006

株式会社ビルスキル

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-13-14 マルヤス機械ビル4F

TEL 03-5944-8005 FAX 03-5944-8006